

農・畜産・水産業の振興と農村活性化や、林業・木材産業の振興と新たな森林環境管理体制の構築を進めます。



農・畜産・水産業の振興と 農村の活性化

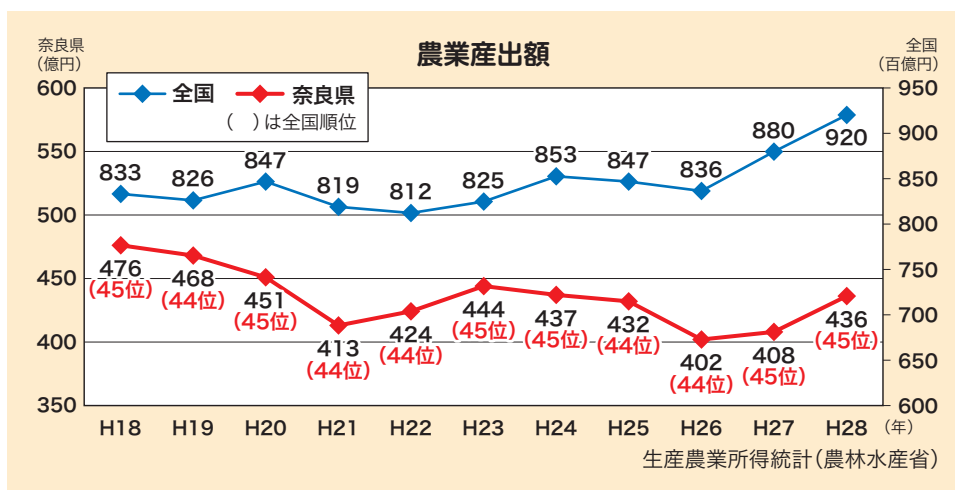
主担当部局：農林部



海外展示会への出展(香港)

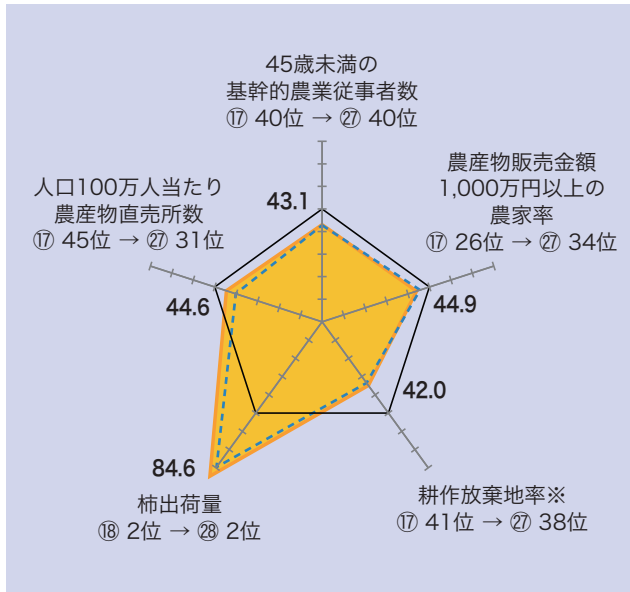
目指す姿

平成35(2023)年までに、**農業産出額**を**446億円**に増加させます。

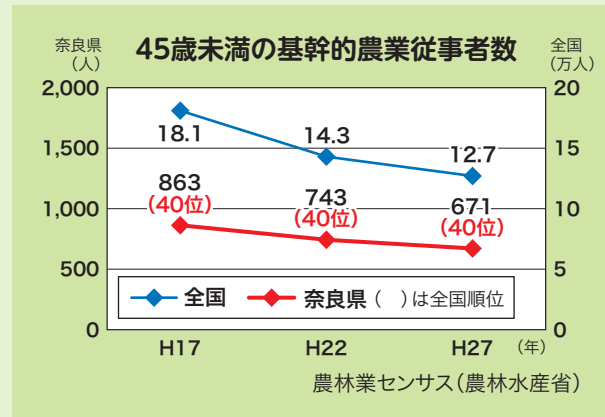


目指す姿を達成するための取組状況

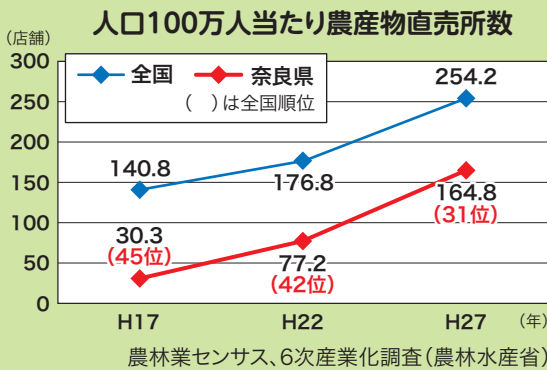
● 現状



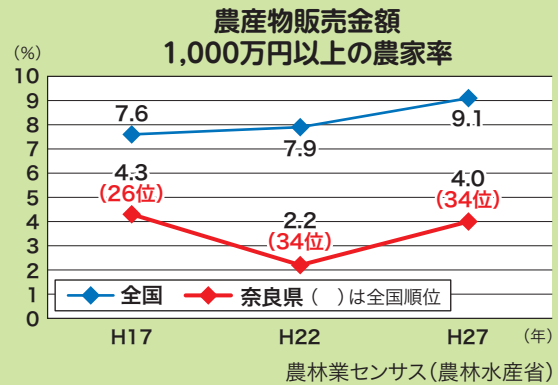
● トレンド



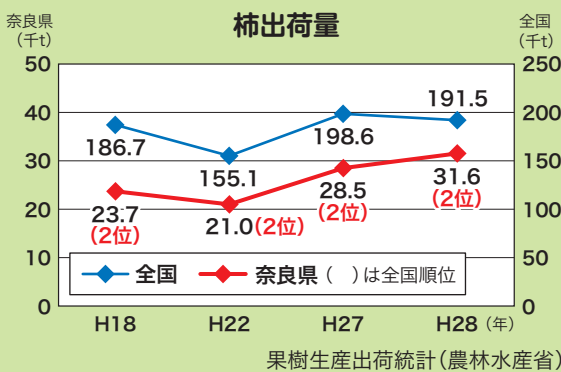
45歳未満の基幹的農業従事者数は、全国と同様に徐々に低下しています。



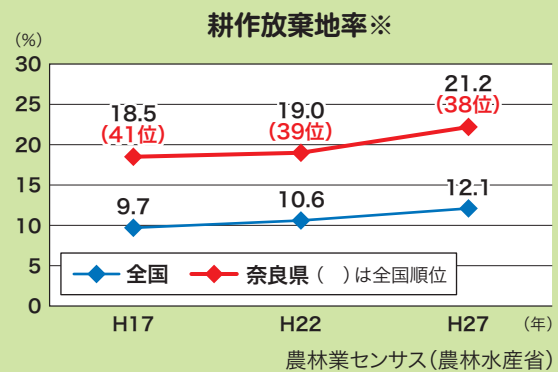
人口100万人当たり農産物直売所数は、全国と同様に増加しており、奈良県の全国順位は上昇しています。



農産物販売金額1,000万円以上の農家率は、全国で増加していますが、奈良県ではほぼ横ばいとなっています。



リーディング品目である柿の出荷量は、和歌山県に次いで2位を維持しています。



奈良県の耕作放棄地率は、全国と比べて依然高い状況が続いています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



戦略 1

県産農産物の販路拡大と美味しい「食」づくりを推進します。

担当当課：農林部 マーケティング課

戦略目標

東京中央卸売市場における
奈良県産野菜の取扱金額

78百万円
平成24(2012)年度

目標
→

81百万円
平成32(2020)年度

県内農産物直売所での売上額

42億円
平成19(2007)年度

目標
→

95億円
平成32(2020)年度

6次産業化の総合化事業計画認定件数

17件
平成23(2011)年度

目標
→

60件
平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
首都圏・海外等での販路拡大	首都圏等でのPR実施、海外展示会への出展		
多様な流通経路の形成	県中央卸売市場 再整備基本計画 策定	実施方針、 募集要項の 作成 ● 業者 決定	再整備基本設計、 実施設計
奈良の美味しい「食」づくりとプロモーションの強化	学校・施設給食等の地産地消の促進、 6次産業化の推進・支援		



東京大田市場での柿のトップセールス



奈良フードフェスティバル(奈良市)

戦略 2

県産農・畜・水産物の生産力強化を図ります。

主担当課：農林部 農業水産振興課

戦略目標

リーディング品目の生産額
(柿、キウイ、イチゴ、茶、大和畜産ブランド、金魚)

126億円
平成25(2013)年度



136億円
平成32(2020)年度

チャレンジ品目の生産額
(大和野菜、サクランボ、切り花ダリア、切り枝花木、
有機野菜、イチジク、アユ、アマゴ)

18億円
平成25(2013)年度



20億円
平成32(2020)年度

研究者1人当たりの産地で活用された
技術件数

0.38件/人
平成25(2013)年度



0.5件/人
平成30(2018)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
品質によるブランド認証制度の推進	新規品目及び取組団体の追加、認証制度の運用、 ブランド認証品のPR		
リーディング品目の産地競争力強化	高品質安定生産技術の開発・普及、 GAP取得支援、農業水利施設の計画的な維持修繕・更新		
チャレンジ品目等の生産拡大・販路開拓	大和野菜等の生産拡大、収量・品質向上に向けた技術支援、 水産業の振興、耕畜連携		
農業研究開発センターの研究機能の高度化 (漢方・育種・加工・栽培)	薬用作物の安定供給、優良品種の育成、加工食品の 開発と加工技術の研究、革新的な生産技術の開発		



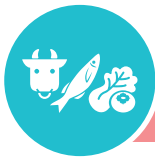
県産高級ハチミツ「大和の雫(しずく)」



東京へ出荷する高品質なイチジク



清流で育った県産アマゴ



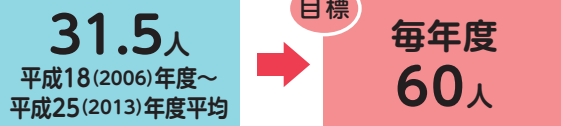
戦略 3

意欲ある担い手の育成・確保と農地のマネジメントを推進します。

主担当課：農林部 担い手・農地マネジメント課

戦略目標

新規就農者数



農業法人数



担い手への農地集積率



基幹水利施設の更新整備(累計)



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
新規就農者等への支援	就農相談、就農後の営農定着への支援、NAFICにおける「食」と「農」の担い手の養成		
農・畜産・水産業経営に意欲ある担い手の育成・確保	経営の複合化・多角化・法人化支援、女性の農業参入の促進、企業等多様な担い手への支援		
農地マネジメントの推進と農地の有効活用への支援	担い手農家への農地のマッチング支援、耕作放棄地再生活用への支援		
農地マネジメントと連携した農業基盤整備	農業水利施設の計画的な維持・修繕・更新の実施		



新規就農相談フェア(大阪市)



NAFICアグリマネジメント学科での農業実習(桜井市)

戦略 4

地域資源を活用した農村地域の活性化を図ります。

主担当課：農林部 農村振興課

戦略目標

地域づくり協議会へ参加する集落数

17集落
平成26(2014)年度

目標

25集落
平成31(2019)年度

有害獣であるニホンジカの年間捕獲数

2,831頭
平成18(2006)年度

目標

10,000頭
平成32(2020)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
農地や農村風景の維持・機能の増進	農業、農村の多面的機能の維持、発揮のための活動や農村地域づくりへの支援		
農村資源を活用した販わいの創出	地域の「食」と「農」を活かしたNAFIC周辺の販わいづくり、「ぐるっとオーベルジュ」の整備とネットワーク化の推進		
総合的な鳥獣被害防止対策の推進	地域ぐるみの被害防止対策の実施、「ならジビエ」の消費拡大		



農村に伝わる伝統祭事の事例調査をとりまとめた冊子



ならジビエ(猪肉ロースト)